

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	城 東
学 校 名	大阪市立すみれ小学校
学校長名	北田 雄三

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・すみれ小学校では、第6学年 83名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

学力調査の結果では全国や大阪市・大阪府と比較して国語・算数・理科とも高い水準であり平均正答率が全国平均を大きく上回っている。
児童アンケート調査においては、全国や大阪と同じ傾向にあるが、自己肯定感や基本的な生活習慣が顕著に高い結果となっている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】平均正答率（本校72% 大阪市65% 全国66.8%）
全国平均を上回っているが、学習指導要領の内容における（2）情報の扱い方に関する事項の正答率に課題があることがわかった。

【算数】平均正答率（本校65% 大阪市58% 全国58.0%）学習指導要領の領域全般にわたって全国平均を上回っているが、B図形に関して課題がある。

【理科】平均正答率（本校64% 大阪市55% 全国57.1%）学習指導要領の区分では全般にわたって全国平均を上回っているが、A区分の「エネルギー」を柱とする領域に課題がある。逆にB区分の「生命」を柱とする領域は全国平均を13ポイント以上上回っている。

質問調査より

児童質問では全国。大阪市とほぼその傾向は同じといえる。本校で特に全国より顕著に高く示しているは、「自分にはよいところがあると思いますか」の質問では肯定的な回答が95.2%あり自己肯定感が比較的に高いといえる。また「先生はあなたのよいところ認めてくれますか」でも肯定的な回答が97.6%。規則正しい生活習慣の項目も95%以上ある。「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」では最も肯定的な回答が95%を上回っている。以上のことから学校や家庭で安心して過ごせている傾向にあることがわかる。

今後の取組(アクションプラン)

学習場面や学校生活の中で、一人ひとりが安心して自分をだせるように学校経営・学級経営を進めていきたい。

思考力・判断力・表現力の育成をさらに進める。

○国語では筆者の主張や登場人物の思いを単に述べるだけでなく、「なぜそう考えたのか」という根拠の文章などから見つける活動を多く取り入れていく。

○算数では「どのように考えたのか」を言葉で説明する活動を重視したい。

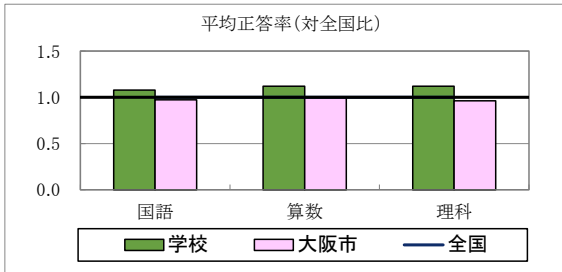
○理科では実験や観察の記録から「なぜそうなったのか」を考えることを重視したい。

どの学習においても、自分の考えと、他者の考えを比較するなど対話的な学習に重点をおいて指導していくことをめざしていく。

【 全体の概要 】

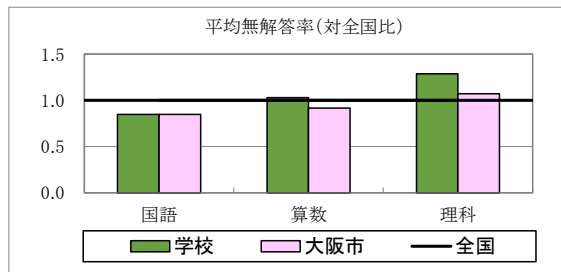
平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	72	65	64
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	2.8	3.7	3.6
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



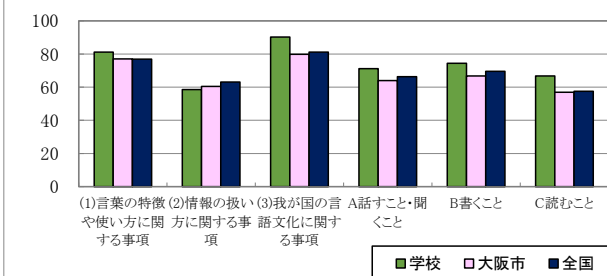
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	81.1	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	58.5	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	90.2	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	71.1	64.0	66.3
B 書くこと	3	74.4	66.7	69.5
C 読むこと	4	66.8	56.9	57.5

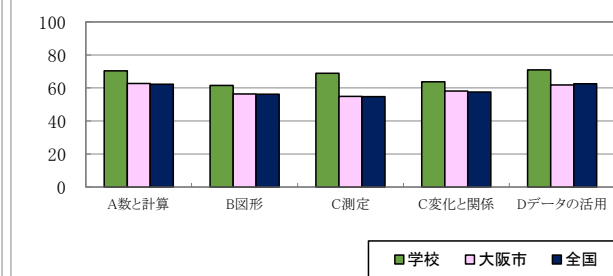
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	70.4	62.7	62.3
B 図形	4	61.6	56.4	56.2
C 測定	2	68.9	54.9	54.8
C 変化と関係	3	63.8	58.2	57.5
D データの活用	5	71.0	61.9	62.6

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)

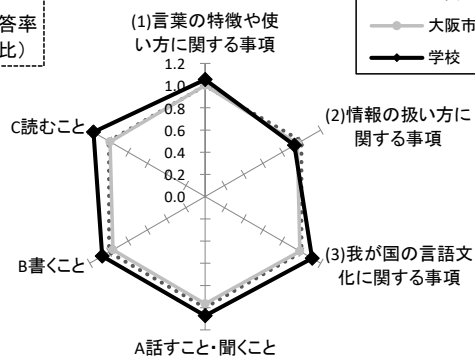


算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



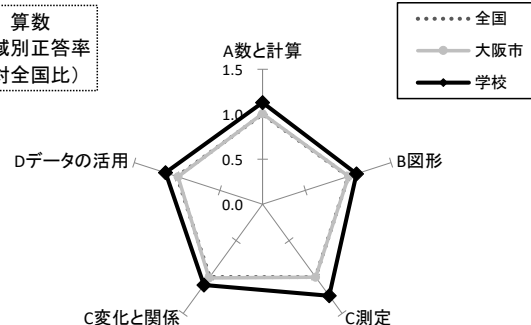
国語

内容別正答率
(対全国比)



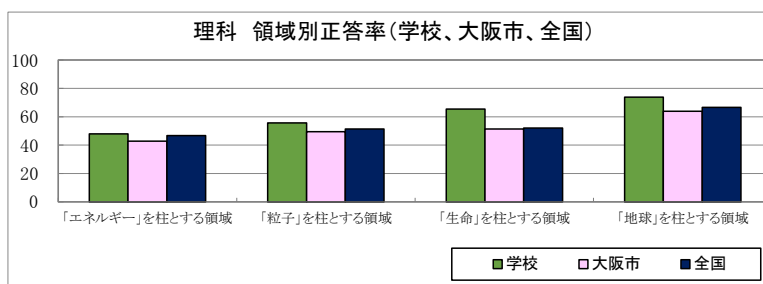
算数

領域別正答率
(対全国比)

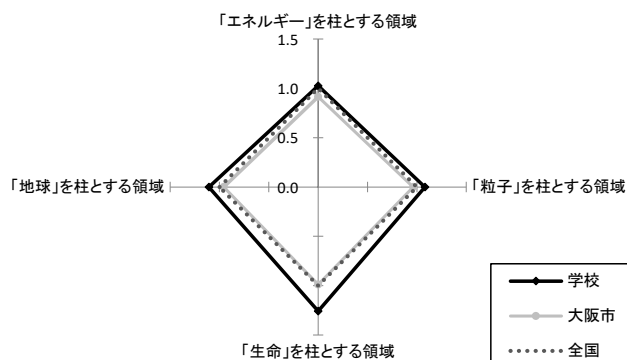


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区分 「エネルギー」を 柱とする領域	4	47.9	42.7	46.7
分 「粒子」を 柱とする領域	6	55.6	49.5	51.4
B 区分 「生命」を 柱とする領域	4	65.4	51.4	52.0
分 「地球」を 柱とする領域	6	73.9	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問より

質問番号

質問事項

5

自分には、よいところがあると思いますか

1

2

3

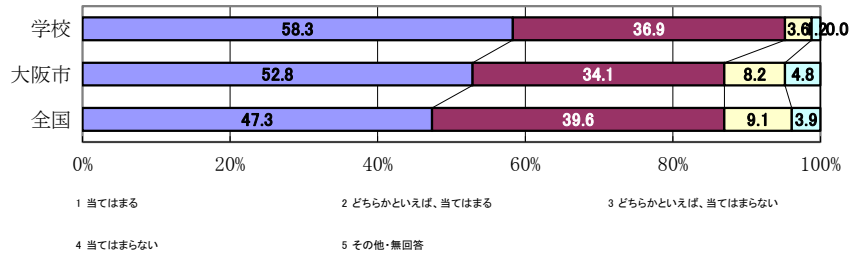
4

5

6

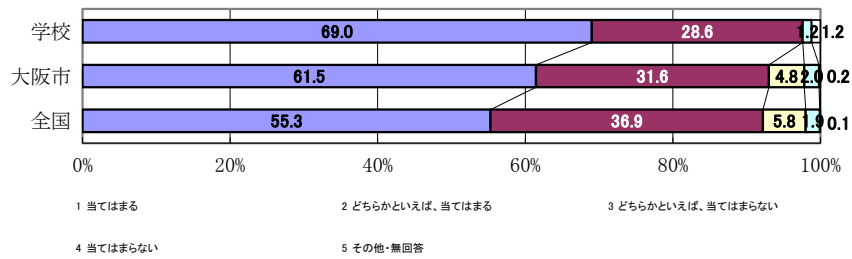
7

8



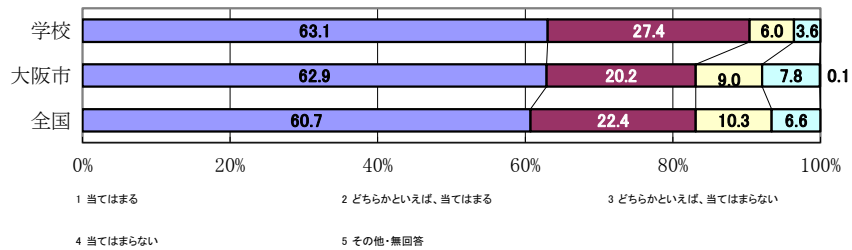
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



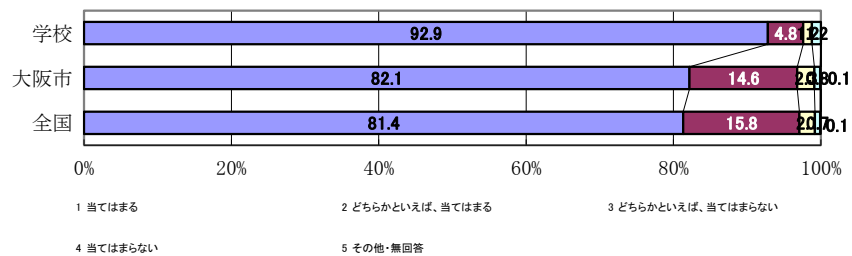
7

将来の夢や目標を持っていますか



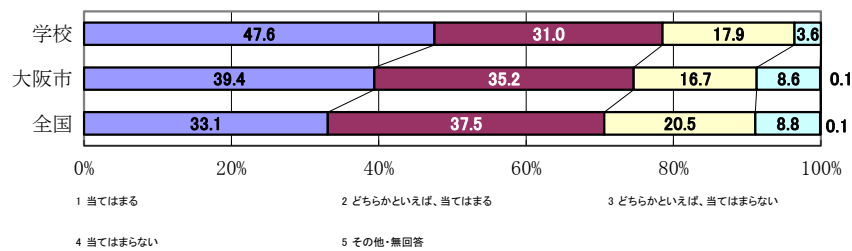
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



学校質問より

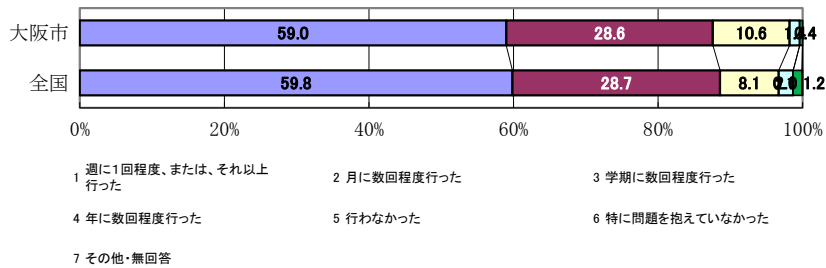
質問番号

質問事項

12

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

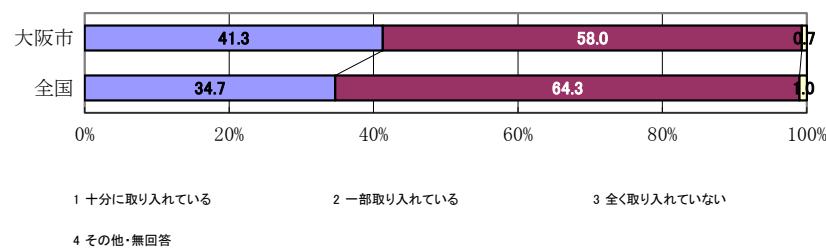
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



13

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

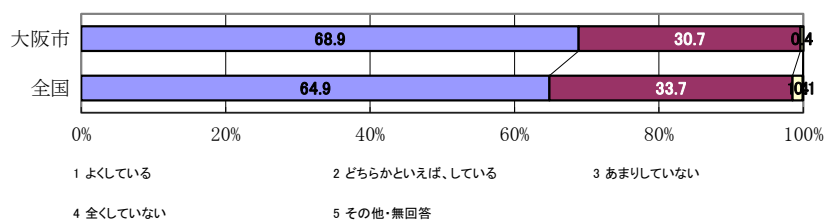
学校 「十分に取り入れている」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

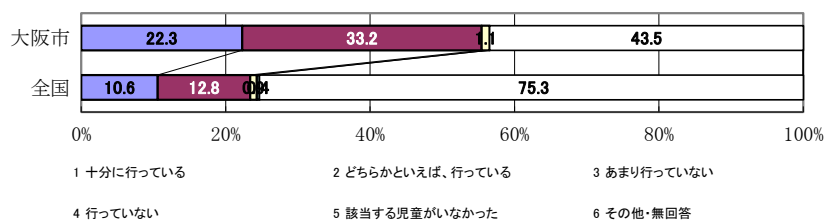
学校 「よくしている」を選択



71

学校では、調査対象学年の児童のうち、日本語指導が必要な児童に対して、特別な配慮に基づく指導をどの程度行っていますか

学校 「十分に行っている」を選択



83

令和6年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

学校 「よく行った」を選択

